

人 輝く・安芸高田



あきたかた

# 議会だより

今回の題字は、<sup>たか はし あき ひろ</sup>高橋見大くん(美土里小学校6年生)です。



いずみかわ

表紙の絵は、泉川ほのかさん(美土里小学校6年生)です。  
平成21年度安芸高田市吉田歴史民俗資料館(現 歴史民俗博物館)主催  
絵画コンクール「文化財を描こう」市教育委員会教育長賞

**22年度予算を審議**..... 3~6

**常任委員会報告**..... 7~9

**15人が市政を問う**... 10~17

**22年第1回臨時会**..... 20

**地域のかがやき**..... 22

**第25号**

2010(平成22)年5月1日発行



22年度予算

適正な財源確保と徹底した経費の見直しでスタート!

# 一般会計 231億7400万円

(対前年度 約27億円増)

- ・特別会計 100億8587万円 (対前年度約2千万円減)  
(国民健康保険、後期高齢者医療など12会計)
- ・水道事業会計 4億9567万円 (対前年度約6千万円減)

可決

3月定例会を2月22日～3月18日までの会期で開催。

22年度予算は、14議案のうち一般会計と特別会計について討論し、すべて原案のとおり可決した。(予算審査は3～6ページに掲載)

各常任委員会へ付託した条例等の22議案は、すべて原案のとおり可決した。(各常任委員会の審査は7～9ページに掲載)

一般会計、特別会計、水道事業会計補正予算13議案は、すべて原案のとおり可決した。

一般質問では、15人が市政を問う。(10～17ページに掲載)



## 討論

### 一般会計

#### 反対

**亀岡** 葬儀場施設併設事業の推進は改革実施計画に逆行している。

**和田** 財政健全化に向けた方向性がみえない。

#### 賛成

**前川** 市民福祉の充実に十分配慮した予算である。

**入本** 生活基盤整備や福祉サービスの充実に向けた増額予算も理解できる。

### 国民健康保険特別会計

#### 反対

討論なし

#### 賛成

**山根・今村** ジェネリック医薬品の利用促進は、国保財政の健全化、国保加入者の自己負担の軽減が期待される。利用促進に向けた地域での説明、医師会薬剤師会等の連携のもとに進められるということを理解できる。

### 国保会計以外の特別会計と水道事業会計

討論なし

#### 全員賛成

予算の具体的な内容は、広報あきたかた4月号をご覧ください。

# 事業実施は 市民の理解と合意のもとに

22年度予算について「予算審査特別委員会」を設置し、慎重に審議した。



## 予算審査特別委員会

委員長 秋田 雅朝  
副委員長 前川 正昭  
委員 大下 正幸  
先川 和幸  
穴戸 邦夫  
青原 敏治  
金行 哲昭  
今村 義照  
亀岡 近等  
塚本

### 【22年度予算編成基本方針】

本市の財政状況は極めて厳しい状況にあるが、市民生活の安定確保を最優先に取り組むべき対策は、積極的かつ果敢に実施する。

### 【全体的な意見】

- ・将来的な財政見通しで、義務的経費を削減するよう努力し、既存の施設運営の方向性をしっかり見つめるべき。
- ・財政難を訴えながら民間活力を引き出す手法が見えない。
- ・あらゆる事業について市民に理解と協力を求める広報活動をすべき。など



## 一般会計

### 総務企画部

**Q** 義務的経費（人件費・扶助費・公債費等）の削減、21年度と比較し低くなっている。

**A** 子ども手当など国の制度を受けての増加であり、市単独の施策によるものではない。公債費は19年度以降3年間の繰上償還で、約8億円の効果が見込まれている。



交通安全パトロール出発

**Q** 現在の自主防災組織率と今後の見通しは。

**A** 自主防災組織は災害時に対応する組織として推進し、世帯数を対象として36%の組織率で、100%を目標に推進している。

**Q** 交通安全推進隊の今後のあり方は。

**A** 推進隊は旧町で組織され、現在も活動されている。隊員の確保は今後の検討課題。

# 統合給食センター整備 23年度稼働に向けて



統合給食センターいよいよ着工へ  
(アグリフーズ駐車場敷地)

**Q** 葬斎場整備事業の工事請負費と補償費の内容は。

**A** 工事請負費は、建設予定地にあるごみ焼却施設の解体工事費と造成工事費で、補償費は、予定地付近の電柱移転費と立木補償費。

**Q** 向原町生涯学習センター等基本構想作成と八千代町サイクリングターミナル活用計画策定業務の内容は。

**A** 向原町生涯学習センター、向原こぼと園整備の基本構想と、土師ダム周辺施設を総合的に活用するための基本構想策定並びにターミナル施設のあり方を検討するための業務委託。

**Q** 給食センター整備の入札時期と着工予定時期は。また、分離発注か一括発注か、地元業者は参入できるのか。

**A** 入札時期は5月の予定で、本体工事は5月末の着工予定。建設工事、設備工事、機械設備が一定の額になり一体工事では難しく、分離発注の方が市内業者の参入も容易と判断される。

**Q** 地上波デジタル放送に対応する市独自の補助制度は。

**A** デジタル化は国の施策ではあるが、これを契機にすべての地域が見えるようにするため、場合によっては市独自の支援もありうる。

**Q** 地域振興会活動検討委託料に100万円あるが。

**A** 振興会活動に対する行政支援のあり方を検討する業務、各振興会の活動内容に差があること等で、現状の取り組みの整理や補助金支給方法等の検討を行うもの。

## 市民部

**Q** 太陽光発電システム促進事業の内容は。

**A** 発電システムと省エネ設備を付加した住宅に補助を考慮しており、省エネ設備は、LED電灯装置や二重サッシを想定し、発電システムは4キロワットを上限として、1キロワットあたり3万5千円の補助を計画している。

**Q** 環境基本計画策定の時期とその範囲は。

**A** 市民の声を聞きながらできるだけ早く着手し、ごみ処理、エコ対策など、実行できるものから行いたい。



太陽光発電パネル 1キロワットあたり35,000円



# 休日・夜間救急診療所へ 7900万円

**Q** 障がい者生活支援委託料は。  
**A** 社会福祉法人ひとは福祉会と社会福祉法人清風会の2施設に相談支援事業を委託しており、電話や訪問相談、事業所への来所相談でサービス等の提供に つなげている。

## 福祉保健部

**Q** ファミリーサポートセンターの現状は。  
**A** 提供会員73人、依頼会員86人であり、事業は70件程度である。22年度からの宿泊預かり実施を協議しており、病後時保育の検討等、利用拡大を図る。



休日・夜間の医療体制維持

**Q** 集落営農支援事業の取り組み状況は。  
**A** 農業事情を考えると法人化は避けて通れないと考えている。JA、県、市が一体となって推進し、現在集落型が10法人で、さらに法人設立

## 産業振興部

**Q** 休日・夜間救急診療所運営事業負担金7900万円の算出根拠は。  
**A** 医師委託料やスタッフ手当が赤字となり、中核病院（JA吉田総合病院）の体制維持のため、赤字補填もあわせて増額計上している。

**Q** 美土里町北生診療所閉鎖で住民対応は。  
**A** 保健師が地域に出向き、定期的健康相談や家庭訪問の充実、横田診療所の往診の充実を図る。

に向けて動きが活発化している。  
**Q** 農産物ブランド化戦略展開事業のねらいは。  
**A** 安芸高田市の農産物ブランド化を目指すもので、事業主体のJAの取り組みに対して支援することで販路の拡大が見込まれる。



安芸高田市ブランド米「三矢御膳」

**Q** 有害鳥獣対策の狩猟資格後継者育成補助金の事業実施は。  
**A** 駆除班員の高齢化もある中で、新規に第1種狩猟者資格を取得していただくための助成を考えている。

# ジェネリック医薬品の利用促進は医療費削減に向けて



施設の耐震化で子どもの安全を

## 教育委員会

**Q** 学校耐震化は。

**A** 国はすべての学校を対象に実施することを基本としているが、高額の費用を要するため年次計画により取り組む。

**Q** 少年自然の家管理経費の上昇は。

**A** 当初1600万円程度で運営できるが見込んでいたが、

保守点検や野外活動のための職員配置で上昇した。今後運用の仕方を含め検討する。

**Q** 多文化共生社会に向けての取り組みは。

**A** 当面吉田町を中心に、まずはコミュニケーションを図るための日本語理解講座を開設する。

## 国民健康保険特別会計

**Q** ジェネリック医薬品の利用は伸びるのか。

**A** 国、県も積極的に進めており、削減額約145万円で、2年くらいを境に伸びてくると思われる。

**Q** 将来見通しをたてた上で、効果を高めるための当面の課題と見通しは。

**A** 被保険者の30〜40%の切り替えという推測だが、情報提供が課題となる。通知書を送付し、啓発に努める。

**Q** 文書だけでは理解できない。具体的な市民への啓発は。

**A** 地域での説明が第一と考える。地域に向いて、また内部でも連携し、高齢者への啓発等を実施する。

## 介護保険特別会計

**Q** お太助ポイント銀行事業委託料の具体的な内容はいつごろ発表するのか。

**A** 22年10月のポイント銀行開設を目指し、22年度上半期での状況に合ったポイント銀行の体制を構築する。

薬名	数量	単価	総額	ジェネリック医薬品に切り替えることで削減できる金額
ロキソニン錠 5mg	300錠	1,270	400	~
ロキソニン錠 5mg	300錠	750	300	~
ロキソニン錠 5mg	300錠	1,280	410	~
合計			3,300	1,180

ジェネリック医薬品の医療費通知サービス開始



総務企画常任委員会

付託された議案6件を、2月24日に委員会を開き慎重に審査し、すべて原案のとおり可決。  
また、核兵器の廃絶と恒久平和実現にむけた意見書を政府に提出することとした。

(主な審査)

- 職員勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市事務分掌条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市税条例の一部を改正する条例

委員長 赤川三郎  
副委員長 山根温子  
委員 大下正幸  
先川和幸  
金行哲昭  
今村義照  
藤井昌之

# 人権多文化共生推進室を新設

## 海外からの優秀な人材を確保

### 県内で初の設置



人権多文化共生推進室の新設

金行 必要性は。その必須性は。市長 多文化共生は将来の安芸高田市にとって必要なことととらえており、これをスタートさせることに意義がある。また、県内では初めての開設となる。



タイ料理で多文化交流

山根 市内在住外国人の現状は。武岡行政経営課長 12月末現在18カ国575人で、中国182人、ブラジル148人、韓国71人、ベトナム41人、フィリピン37人、タイ31人など。

ひとくちメモ 「多文化共生」とは

国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら地域社会の構成員として共に生きること。

## 人事院勧告に基づき 職員勤務時間 15分短縮

今村・山根・先川 勤務時間短縮は、人件費コストの上昇となる。上昇分を補う対策は。

市長 事務効率を高め、さらなる行政改革に取り組む。また、支所の行政コスト削減にむけては、市民総ヘルパー構想、自主防災組織等、市民に協力いただきたい。

## 核兵器廃絶と 恒久平和実現にむけて

2020年までに核兵器廃絶を目指すための緊急行動として示された「ヒロシマ・ナガサキ議定書」が、本年開催のNPT（核不拡散防止条約）再検討会議で採択されるよう、政府に対し、核保有国を始め各国政府への働きかけを求める意見書を採択した。

**文教厚生常任委員会**  
付託された議案11件を、2月25日に委員会を開き慎重に審査し、すべて原案のとおり可決。

(主な審査)

- 安芸高田市環境基本条例
- 安芸高田市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市診療所条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市立図書館条例の一部を改正する条例

委員 青原 敏治  
副委員長 穴戸 邦夫  
委員 石飛 慶久  
委員 児玉 史則  
委員 水戸 眞悟  
委員 山本 優  
委員 塚本 近

# 守ろう豊かな水と緑 環境基本条例

**概要**  
恵み豊かな環境を未来に継承していくため、「市、市民等、事業者及び所有者」それぞれの責務を明らかにし、人と自然が共生できる環境負荷の少ない社会の実現をめざす。



美しい自然を未来へ

**石飛** 市民等、事業者及び所有者が自らの行為による環境への負荷とあるが「自ら」の解釈は、**山本市民部長** 環境に関するすべての行為と理解していただきたい。

**水戸** 基本条例を市民への周知方法は、

**久保市民生活課長** 今後環境基本計画で具体的に啓蒙、啓発する。

**穴戸** 環境は未来に続くもの、環境学習は、

**市長** 条例制定を契機に、さらに環境教育を進める。

- ◆平日 「午後6時まで」を「午後6時30分まで」に延長
- ◆土曜日・開館日で学校が休業または休日の場合 「午前8時30分から午後6時まで」が「午前8時から午後6時30分まで」に延長

## 放課後児童クラブ 条例の一部改正

(利用時間の延長で子育て支援拡充)  
4月1日から実施

**児玉** 利用状況は、  
**高橋子育て支援課長** 夏休み  
87人、平日は427人が利用している。



放課後児童クラブの利用時間を延長



産業建設常任委員会

付託された議案5件を、2月26日に委員会を開き慎重に審査し、すべて原案のとおり可決。

(審査内容)

- 安芸高田市公の施設の指定管理者の指定について【向原農村交流館 やすらぎ 再指定】
- 安芸高田市企業立地奨励条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市道路占用料に関する条例の一部を改正する条例
- 財産の取得について【雇用促進住宅吉田宿舎】
- 安芸高田市有住宅条例の一部を改正する条例

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 秋田 雅朝 |
| 副委員長 | 前川 正昭 |
| 委員   | 前重 昌敬 |
|      | 和田 一雄 |
|      | 入本 和男 |
|      | 亀岡 和男 |

# 更なる雇用拡大へ!

## 企業立地奨励条例一部改正

### 《奨励金の内容》

- 企業立地 固定資産税相当額（3ケ年 各年度限度額1500万円）
- 新規雇用 1年以上継続雇用の場合で住所を市内に有する者（人数×12万円で限度額600万円 1回限り）
- 施設整備 新設した工場等の施設整備に要した額の5%（限度額500万円 1回限り）
- 土地取得 取得した土地面積が**5000**m<sup>2</sup>を超えた場合、土地取得価格の5%（限度額1000万円 1回限り）

### 《対象物件》

- ・工場
- ・流通施設業務
- ・試験研究施設
- ・宿泊施設
- ・観光施設等

入本 企業誘致の21年度実績と22年度の予定は。

佐々木商工観光課長

21年度は、甲田町の藤崎商会と吉田町（吉田中学校横倉庫）の姫路合同貨物自動車株式会社との2社である。

藤川副市長

22年度の予定は、現在岡山に本社のある農機具販売会社で、吉田町の愛郷中学校跡地に本社移転の意向を受けている。



姫路合同貨物自動車(株)取得地



藤崎商会取得地

# 市政を問う



和田 一雄  
(尊和会)

**和田** 一般質問（未既決）の進捗について、クリスタルアージョへの飲食整備は。  
**市長** 22年度からでも行政懇談会等を通じて、強い市民の声があれば受け入れたい。

**和田** 防災・遊具を備えた公園整備は。

**市長** 今現在駐車場不足なので、第2駐車場は非常に難しい。それに代わる何かがあれば考えられる。

**和田** 公共施設の有効活用について、各支所エリアの統合整備計画は。

**市長** 各建物の統合は基本趣旨。22年度以降の予定で第二次行政改革実施計画に揭示している。

## 施設整備

公共施設の有効活用は

市長／今後の検討課題

**和田** 行政組織機構の変革で、まちづくり支援課と生涯学習課の重複する事務分掌の見直しは。  
**市長** 生涯学習課等連携し支援する。  
**教育長** 与えられた任務を遂行し、まちづくりを推進する。

**和田** 事業負担を軽減し、未来の教育に重点を置く考えは。  
**教育長** 教育委員会がやる仕事とまちづくりは分担すべきと考える。



防災・遊具を備えた公園を

## 財政

## 市長の政策を示すべき

市長／市民総ヘルパー構想でまちづくりを



今村 義照  
(あきの会)

**今村** 市民の要望、要求を行政に反映させるために、行政評価システムを導入し目標を設定しているが、政策の主軸をどのように示され、市民に評価されようと考えているのか。

**市長** 今年度から全ての事務事業で目標設定を実施する。行政評価の仕組みには職員の理解が必要であり、今後、より精度の高い取り組みを強化していく。市の最大課題である高齢化に対し、市民にも協力を仰ぎ、すべての政策の根幹に「市民総ヘルパー構想」を示し、政策課題として構築したいと考えている。「もやいの精神」による行政と市民が連携した協働のまちづくりが必要と考える。



市長の目指すまちづくりは



一問一答方式  
導入

# 15人が

**宍戸** 「休日・夜間救急診療所」(JA吉田総合病院)への財政的支援や、市民の理解と協力のもと、みんなで守るための協議会の設立は。  
**市長** 実態は年間約8,000人が受診



**宍戸 邦夫**  
(無所属)

**JA吉田病院**

## 守ろう 休日・夜間診療所

**市長／救急の灯は消さぬ**



守ろう 休日・夜間診療所

されている。医師不足でもあり、経営的にも救急体制維持が非常に困難な状況にある。市民の安全安心の確保のため、県に対して医師派遣の要望書の提出、医療機器整備の補助、市の負担金の増額など支援を充実していく。また、市民の理解と協力を得るために、市民の視点に立った協議会設置は必要と考える。



**山根 温子**  
(無所属)

## 在宅介護

### 24時間 365日の 支援を

**市長／視野に入れて検討**

**市長** 国も展開をすすめているが、介護報酬の仕組みに原因があり、整備が進んでいない。次期介護計画において

**山根** 21年の介護保険事業計画のアンケート結果では、自宅で最期まで生活したいが約60%を占めている。要介護者の意向を受け止め、また介護費用の軽減を図るためにも、地域に密着し、登録者とその家族を24時間365日支えるという小規模多機能居宅介護事業所の展開は。



毎日の日課 ラジオ体操

議論していきたいと考えている。

**山根** 市長は24時間保育を言われるが、介護においても24時間365日の支援体制が必要では。

**市長** 介護の24時間支援も視野に入れて検討する。

### その他の質問

- 特定健診について
- ジェネリック医薬品利用促進について
- 地域包括支援センターについて

# 市の将来像は

## 市長／安心安全なまちに

まちづくり



金行 哲昭  
(政友会)

**金行** 市長が就任されて2年が経過するが、市長の考える市の将来像は。  
**市長** 行政改革を推進し、市民総ヘルパー構想として介護家族リフレッシュ事業、生活サポート事業等

を実施し、安心・安全なまちづくりを推進する。

**金行** 我が市は独居老人が1600人に達しており、安否確認が必要と考えるが、元気な方に朝起きて旗を立ててもらおうなどの考えは。

**市長** 独居高齢者等在宅生活への不安解消が大きな課題であり、安否確認が市民総ヘルパー構想においても必要で、地域振興会や老人クラブにおいても安否確認している。



旗を立てて安否確認を



水戸 眞悟  
(絆)

**水戸** 美土里町北生診療所閉鎖の経緯と今後の関係地域の医療対策は。

**市長** 土本病院からの閉院申し出を受けて、診療所の継続運営を検討したが、医師の確保が困難なこと、また、横田診療所の整備充実に加え、お太助ワゴンの運行もあることから、閉院を決定した。

**重本福祉保健部長** 地域住民の皆さんへの対応に努力する。

**水戸** 給食センター整備事業に伴い、現調理場の6次産業育成への有効活用を望む。

# 診療所閉鎖

## 地域医療の行方は

### 市長／横田診療所の充実で

**市長** 地域の声を聞きながら有効活用を模索する。

**市長** 一般職への職種転換や配置転換、再雇用のあっせん等で雇用確保に最大限努力する。

**水戸** 給食調理場職員への今後の対応は。



美土里町北生診療所閉鎖





秋田 雅朝  
(政友会)

**秋田** 減少傾向にある市税の増加対策は。  
**市長** 企業誘致、雇用確保、人口増など考えられ、多文化共生の効果を期待している。

**秋田** 未利用地の売却、貸付等での確保状況は。  
**市長** 公有財産取得処分等委員会を設置し、遊休未利用地の売却促進を図っている。

**秋田** 企業広告の導入による目標額の確保は。  
**市長** 目標に達してなく、収益の向上に努める。

## 市税減少

### 財源確保は

**市長／企業誘致や公有財産売却**

**秋田** 水道施設維持管理の包括的民間委託の将来的な見解は。  
**市長** 維持管理、料金業務等、順次業務委託を進め、早い時期の民営化を考えている。

**市長** 設立の経緯、経費負担の課題など加味し、市民の納得いく形で対処を考えているが、当面は現行対応でお願いしたい。

**秋田** 地域で運営管理の任意水道組合の今後は。

**その他の質問**  
○野菜生産供給体制の充実を



水道施設の維持管理は



亀岡 等  
(市民クラブ)

## 市道整備

### 合併前の改良計画見直しは

**市長／総合計画に基づき整備**

**亀岡** 市道の改良整備で、合併前の各町での改良計画など改良を必要とする路線がある。今後の方針や見直しは。

**市長** 市道の改良整備は、財源を検討し、年次計画のもとに実施しており、当面は市の総合計画及び財政推計を考慮しながら対応していきたい。



待たれる市道の改良整備

## 少子化問題

子育て支援、  
新たな計画・対策は

市長／できるものから着実に



前重 昌敬

(絆)

前重 市乳幼児等医療費支給事業の対象を、中学校3年生まで拡大しては。

市長 一番よいシステムの構築に向け努力する。

前重 不妊治療費の一部助成の実施は。

市長 広島県で事業実施されており、現行制度を活用する。市民の方々に広報等を通じて周知する。

前重 合計特殊出生率の低下、人口減少の流れを変えるためにも、次世代育成支援行動計画を基本計画として、単年度に主眼を置いた計画の策定に取り組むべきでは。

市長 次世代育成支援行動計画が少子化対策、子育て支援総合プランの策定にかわるものと考えている。



さらなる子育て支援は

## 観光戦略

## 神楽の観光資源化は

市長／市の文化と位置づけ推進



石飛 慶久

(無所属)

石飛 神楽門前湯治村の状況と今後の取り組みと見通しは。

市長 湯治村を運営する経費が50000万円要している。さらに経営努力を重ね、指定管理を減らす努力をする。

石飛 神楽を安芸高田市の財産として、市民と一緒に飛び込む覚悟はあるか。

市長 全国的なものにしていきたいと思っている。

石飛 神楽を観光資源化する具体的提案は。

市長 文化としての位置づけを持ち、関

係者の努力により本物の観光資源になると思う。

石飛 観光産業は、スポーツ、文化、自然すべての分野に及ぶ。専門職をつけて実行を。

市長 組織、人材の確保や連携を緊密に話し合うことを約束する。



神楽を観光資源化  
(神楽門前湯治村神楽ドーム)



青原 林道整備は市にとって必要不可欠。22年度予算に新規事業を含め多くの事業があるが、既存林道の予算が少ない、森林整備するにも林道が必要では。



青原 敏治 (あきの会)

林道整備

その必要性は

市長／対処を検討

市長

林道を整備し森林整備することで、国土の保全、地球温暖化防止等、多面的機能の発揮が期待される。既存の林道は、地域活性化・きめ細かな臨時交付金で緊急路線等の維持補修に対応しているが、林道の必要性を感じ、時間をかけ対処を検討したい。

青原 土曜日の延長保育で、今定例会に

児童館・児童クラブ

の時間延長の条例が出ているが、なぜ保育所ができないのか。市長 公立保育所の時間延長には多くのニーズがあることは認識している。土曜保育の延長について諸課題等を検討し、新年度よりファミリーサポート事業を充実させ、24時間体制で土曜保育も対処したい。



林道整備は必要不可欠



赤川 三郎 (新政会)

赤川 AED (自動体外式除細動器) の

設置が急速に普及し、尊い命を守るも、救命措置や保守点検等に対する意識の低さなどの背景から、使用時の不具合生じ問題となっている。市の対応を伺う。

市長 AEDは市内105基設置しており、うち市の管理が81基(貸出用6基含む)。今後の利用状況を図るため、市民総ヘルパー構想の受講科目として指導し、振興会、自主防災組織等の訓練等において講習を行う。点検管理については、当初の設置段階で専門の方から設置関係者への

AED

保守点検の必要性は

市長／定期的に実施



AEDの正しい活用のため講習を

指導、購入時やリース開始時に製造販売者と契約に基づき定期的な消耗品の交換

と同時の保守点検等実施している。

## 法的整理の状況は

四季の里農園

市長／年度内に一定の整理



山本 優

(絆)

山本 四季の里農園の法的整理の現状と将来の利活用は。  
市長 必要書類等整理に時間がかかり計画より遅れているが、年度内には一定の整理ができる状況である。

る。利活用については、地域農業の振興の観点から、有効活用を図りたい。

山本 地域医療対策について、医師不足による診断や治療等の対応にいろいろ問題が生じている。市民は安心安全な治療を望んでいるが、どのような対応を考えているか。

市長 市としては非常に重要で、中核病院である吉田総合病院では、医師会の協力を得て体制の確立を目指している。病院に対して市民が納得できる対策をとる、中核病院としての必要性を理解していただきながら協力していきたい。



四季の里農園

## 行政改革

### 効果の検証は

市長／手法の検証を図る



児玉 史則

(絆)

児玉 行政改革を成功させるためには、効果の検証が大事。行政がやってみせ、定量的に効果を把握

児玉 指定管理による外部委託の予算は4億円。職員一人当たりの年間給与を800万円で計算すれば50人分に相当する。指定管理による効果は、職員数の削減が結果として表れるべきではない。  
市長 指定管理に特化した形での数値は現在算定していない。効果額は積み上げた数値であり、内容的には分析が必要。

しアナウンスすることが、市民の皆さんとの信頼関係につながるのでは。

市長 一番大切なことと思う。ある程度の効果の確認はしているが、さらなる評価の手法を加え、皆さんにわかるよう検証を図る。



地域振興事業団管理のB&G施設



## 一般質問

**入本** 22年度の日曜日の芸北きれいセンターへの持ち込みは。  
**市長** 偶数月の第一日曜日のみとし、継続する。

**入本** 23年度から全校完全給食が実施されるが、地産地消は。  
**市長** 可能な限り地元で生産される食材と食材納入業者の皆様と、説明会、意見交換会を開催する。

**入本** 26年の人口目標3万5000人に対する対策は。  
**市長** 人口推計値は行政改革で若者定住や多文化共生等で22年度に将来の人口数値を見直す。



**入本 和男**  
(あきの会)



学校給食の地産地消は

## 学校給食

### 地産地消は

**市長** 可能な限り地産地消で

**入本** プレミアム商品券の発行は。

**市長** 社会状況を見据えて検討する。

**その他の質問**  
○公共交通体系について

○住宅対策について  
○教育の充実について

○振興会の充実について  
○農業振興について

## 傍聴記 「私はこう思う」

「高宮町女性連絡協議会」会員22人が一般質問を傍聴され、感想を寄せてくださいました。

- 市、議会44人中、女性は議員1人、3分の1は女性が席を埋めてもおかしくないと思う。男女共同参画が機能していないと感じる。
- 質問が難解で長く、話のまとまりに欠けていた。もっと簡潔に質問してほしい。本題に入るまでが長すぎる感がある。
- 一問一答となってたくさんの意見が聞けるものと思っていた。結局は市の答弁に「わかりました。期待しています。」で終わるやりとりなので、長時間にわたる一般質問が本当に意味のある事なのだろうかとの疑問を感じた。
- 議員は、市民が困っていることや、本当に願っていることを理解して、それを市政に届けるべく議会に臨んでいるのだろうか。議員の質問内容が市民の声であるのか疑問を感じる。
- 市長の新しい企画は評価する。市長の答弁は分かりやすかった。
- 議員さんが、さまざまなことを考えて働いてくださっていることがよくわかった。

議会運営委員会

委員長 金 哲 昭  
副委員長 入 本 和  
委員 山 本 雅 優  
委員 秋 田 朝  
委員 赤 川 三 郎  
委員 青 原 敏 治



【研修報告】

2月8日(月)～9日(火)

# 議会改革を!

テーマ：「住民参画型の開かれた議会」をめざして  
議会の活性化のために  
(一般質問 一問一答方式導入)

山口県 しゅうなん 周南市議会・やまぐち 山口市議会を視察

【市の概況】	人口(人)	世帯(戸)	面積(km <sup>2</sup> )	21年度当初一般会計予算(万円)	議員定数(人)
周南市	153,228	67,506	656.20	600億0462	34
山口市	198,811	83,535	730.23	671億4000	34
安芸高田市(参考)	31,968	13,241	537.79	204億4300	20

## ◎周南市議会

- ・各委員会が委員会懇談会(ミニコン)を開催(関係する市民団体を対象に議会報告)
- ・一般質問の「一問一答方式」導入(質問時間は議員あたり答弁を含み60分以内)

## ◎山口市議会

- ・「議会基本条例」の制定〔21年4月1日制定〕  
(山口市議会らしさを出し、議会改革を進めようとするもの)  
基本条例の3つの要素  
「理念」「制度」「原則」  
情報の徹底した公開と共有、住民参加を示した議会としての公約ともいえるべき  
議会運営の最高規範。
- ・一般質問の「一問一答方式」導入(質問時間は周南市と同様)

## ■研修で得たもの

議会活性化にむけての基本条例制定や一般質問の「一問一答方式」導入等、議会改革を進めるにあたっての今回の先進市視察は、

- ①議会と市長の関係で、争点の集約、情報の整理・公開など議会の課題、政策の提起、執行等の市長の課題
- ②市長と議会の特性と相違
- ③行政的対等性などの議会と市長の関係と原則





委員 副委員長 委員 長  
 員 員 長  
 前川 大下 児玉 前重 山根 穴戸  
 正昭 正幸 史則 昌敬 温子 邦夫

議会広報特別委員会

【研修報告】

2月8日(月)～9日(火)

議会だよりは住民のもの

## 「読みやすく、わかりやすく、ありのままに」

テーマ：「全国町村議長会広報誌コンクール」入選市町に学ぶ

京都府 うじたわら 宇治田原町議会・きづがわ 木津川市議会を視察

【市町の概況】	人口(人)	世帯(戸)	面積(km <sup>2</sup> )	21年度当初一般会計予算(万円)	議員定数(人)	広報委員数(人)
宇治田原町	10,049	3,383	58.26	38億3,600	12	6
木津川市	69,789	25,073	85.12	222億2,800	26	10
安芸高田市(参考)	31,968	13,241	537.79	204億4,300	20	6

### ◎宇治田原町、木津川市 議会だより発行にあたっての共通点

- ・ 広報委員が、毎年開催される「京都府市町広報研修会」に参加し、広報クリニックを受けている。
- ・ 全国の新聞社が標準としている「記者ハンドブック(新聞用字用語集)」を活用している。
- ・ 文の末尾を「～だ、～である」で終える文体の統一を心がけている。
- ・ 簡潔な印象を与え、議会の緊張感、審議に対する真摯な姿勢を伝えている。
- ・ 難しいお役所用語はなるべく避け、平易な日常用語で表現するよう注意している。
- ・ 古く難しい漢字・仮名遣い・送り仮名などの表記方法に注意し、誰にでもわかりやすい用語、表記を行う(現代表記で統一)。

### ■研修で得たもの

議会だより発行にあたり、市政に対する理解と協力を得るため、議会の活動状況を「読みやすく、わかりやすく」を基本に「市広報との違いを明確にする」、対象とする年齢層が異なるため、それぞれの記事ひとつひとつ「具体的対象者を考えて作成する」ことに努めている。

このたびの、すぐれた広報誌活動に取り組まれている市・町の議会広報委員会との意見交換の中で、特に「議会だより発行にあたっての共通点」として示しているような、これまで想像していなかった奥の深さを痛感させられるなど、「たより」づくりの新たな基礎を学んだ研修であった。

一般会計補正

# きめ細かな臨時交付金等 4億4480万円 地域経済の活性化

可決



防犯灯のLED化工事など実施

○一般会計補正予算4億4480万円増額

1月27日に平成22年第1回臨時会を開催した。甲田宿舎の財産取得、市有住宅条例の一部改正、21年度一般会計補正予算（第5号）の3議案を審議し、すべて原案のとおり可決。

事業の早期発注による地場産業の活性化を求める、また来年度予算への影響が質疑された。

国庫補助による地域活性化・きめ細かな臨時交付金等（4億4480万円）を受け事業の前倒しを行い、地域経済の活性化を行う。

来年度予算はスムーズにできるとの答弁があった。

## 議会のうごき

22年第2回定例会は6月開催予定となっています。  
会期の詳細は、市議会のホームページや有線・無線放送、庁舎内掲示版にてお知らせします。  
市民の皆様、ぜひ傍聴にお越しください。

### お詫びと訂正

第24号（22年2月1日発行）の掲載内容に誤りがありました。

- ・16ページ一般質問上段のタイトル等の表示がお助けワゴンとなっておりますが、正しくはお太助ワゴンとなります。
- ・17ページ一般質問下段の写真の説明が大道地域となっておりますが、正しくは大道地地域となります。

## 議会だより「朗読テープ」の貸し出しを行っています

朗読ボランティア「蜘蛛の糸」（代表 芦田道子さん）のご協力により、議会だより朗読テープの貸し出しを行っています。

貸し出し方法等の詳細は議会事務局（42-5621）へお問い合わせください。



朗読ボランティアグループ「蜘蛛の糸」



## 好評！ 21年度に引き続き 偶数月第1日曜の持ち込み可能

(9時～12時、13時～16時)

※祝日(土・日曜の祝日を除く)持ち込みもOK



### 分別でごみの減量を

持込手数料	可燃ごみ	一般住民	65円/10kg
	不燃ごみ	//	100円/10kg
	粗大ごみ	//	100円/10kg
	プラごみ	//	30円/10kg

- 借入金金の返済により、市の運営負担金が21年度3億2854万円から22年度は3億33万円となり、2821万円減額となった。
- 22年度の日曜日の持ち込みは、偶数月の第一日曜日のみの搬入。(21年度の日曜日の平均持ち込み件数は83件)
- 焼却場の管理費として財政調整基金3010万円を積立金とした。
- ごみ収集車(753万円)購入について、今後外部委託で車両持ち込みを検討する。
- 雑入のうち906万円は、資源ごみ分別によるもので、ごみの減量に努力する。
- ごみ袋製作代がかかるので、広告収入の導入を検討する。

22年第一回定例会が3月26日に北広島町で開催され、議案3件について審査し、22年度予算6億9663万円を認定した。

**組合議会議員**  
藤井 昌之 入本 和男  
青原 敏治 秋田 雅朝  
前川 正昭

### 〈主な歳入〉

きれいなセンター運営負担金	3億3300万円
・安芸高田市	1億6388万円
・北広島町	5105万円
● 国からの交付税	1億1144万円
● ごみ処理手数料	6474万円
・ごみ袋	4670万円
・きれいセンター持込	923万円
● 雑入(主に資源ごみ売却)	8984万円
・ごみ処理費	5億3220万円
・借入償還金	8984万円

### (主な審査内容)

## ごみ分別で906万円の収入



● **金属類 583万円**  
(アルミ、スチール、鉄くず、銅線)



● **古紙類 245万円**  
(新聞、雑誌、段ボール、古毛布)



● **ペットボトルほか 78万円**  
(無色カレット、ビールびん等)



# 地域のかがやき

## 吉田 郡山桜まつり



吉田地区振興会のみなさん

## 八千代 芝桜で「水車米」をPR



潜龍峡ふれあいの里

## 美土里 劇団はぐるま座の紙芝居



横田 第2福祉区のみなさん

## 高宮 第27回 たかみや文化祭



高宮田圃パラッツォにて

## 甲田 深瀬きらきら星祭



深瀬地域振興会のみなさん

## 向原 丸山公園ふれあい春まつり



向井原地域振興会のみなさん

### 編集後記

希薄な人間関係が、取りざたされる昨今ですが、安芸高田市には古からの、先人が築いてきた大切な文化や伝統が残っており豊かな人間関係の源となっているような気がします。

今回の表紙は、「文化財を描こう」において、市教育委員会教育長賞を受賞された花田植への絵です。

花田植えは、近所や地域とのつながりの大切さを教えてくれる大切な伝統ですが、子どもたちが関心を持ってくれていることに大きな喜びを感じます。

3月議会から、一問一答方式を取り入れ、市民の皆様によりわかりやすい議会を目指しております。

是非、議会を傍聴しご意見をお寄せ下さい。

発行責任者 (児玉 史則)

議長 藤井 昌之

議員長 穴戸 邦夫  
副委員長 山根 温子  
委員 前重 昌敬

児玉 史則  
山下 正幸  
前川 正昭